

令和 6 年度 立正大学文学部文学科  
日本語日本文学専攻コース  
卒業論文発表会資料（白岩広行ゼミ）

歌詞表現の特性 —Mrs. GREEN APPLE 大森元貴の歌詞をもとに—  
魅力的なキャッチコピーの特徴と分析  
小説の映画化にともなう変化  
児童文学への言い換え表現 —『銀河鉄道の夜』をもとに—  
話題開始部分における談話標識 「え」「ええと」「でも」「なんか」を中心に  
数詞 7 の変遷  
日本映画における字幕と音声  
岩手県岩泉町における方言の使用状況調査と記録  
岩手県中部方言の特徴と印象形成における影響  
日本語母語話者における和製英語  
マンガにおけるオノマトペの研究 —マンガのジャンル別による比較をもとに—  
東京語の成立と変遷  
現場指示における指示詞の選択について

※ 資料の体裁について、白岩の判断で若干の変更を加えた箇所があります

## 歌詞表現の特性

### —Mrs. GREEN APPLE 大森元貴の歌詞をもとに—

#### 【論文の目次】

はじめに

第1章 研究動機・目的

第2章 先行研究 2.1 平成30年間における、ヒットソングの変遷について

2.2 RADWIMPS 野田洋次郎の歌詞における表現特性

第3章 研究概要 3.1 研究対象 3.1.1 Mrs. GREEN APPLE 3.1.2 大森元貴

3.1.3 対象楽曲 3.2 研究方法 3.3 予想される結論

第4章 分析結果・考察 4.1 対象全曲の分析 4.2 アルバム・フェーズごとの分析

4.3 単語数の比較

第5章 結論・今後の課題 5.1 結論 5.2 今後の課題

おわりに

参考文献

#### 【概要】

私たちの日常には、音楽があふれている。ではなぜ人々は音楽を聴くのか、音楽の魅力はなんなのかと思ったときに歌詞がその理由の一つなのではないかと考えた。そこで、歌詞を言語学的観点から調査することにした。

本稿では、24年上半期に最も聴かれて、最も歌われたアーティストである Mrs. GREEN APPLE の歌詞をもとに、幅広い世代に支持される理由を日本語学的な視点から分析した。研究楽曲はフロントメンバーである大森元貴が作詞を手掛けた109曲を対象とし、「ジャンル」「人称代名詞」「対象」「タイトルの有無」「オノマトペ」「色彩」「タイアップ」「二重表記」という8つの項目を設けて分類、分析を行った。さらに、各アルバムにおける特徴から Mrs. GREEN APPLE の変化を見出し、KH Coder を用いて単語数も比較した。

調査の結果として、思想曲が多いことと人称の使い方、タイトルの観点に大森の特徴があるということが得られた。聞き手のことを強く意識した表現や共感を生みやすい言い回しを人一倍大切にしている大森だからこそ、大衆の心に響き、幅広く支持されているのだと分かった。

#### 【主要参考文献】

黒木亮(2018)「RADWIMPS 野田洋次郎の歌詞における表現特性」大阪教育大学教育学部卒業論文

豊田雄大(2020)「平成30年間における、ヒットソングの歌詞の変遷について」大阪教育大学教育学部卒業論文

胡佳芮(2023)「流行歌の歌詞における二重表記の用法—主表記と副表記との意味的關係に着目して—」『一橋大学国際教育交流センター紀要』5(17-28)、一橋大学国際教育交流センター

## 魅力的なキャッチコピーの特徴と分析

### 【論文の目次】

#### 第1章 本論文の目的と方法

1.1 目的 1.2 先行研究 1.3 方法

#### 第2章 キャッチコピー全体の集計結果

2.1 集計方法・分類方法 2.2 集計結果 2.3 考察

#### 第3章 テーマ別キャッチコピーの使用傾向

3.1 分類方法と集計結果 3.2(a~k) テーマ A~K の分析

3.3a 業界別特性の発見 3.3b 表現技法の傾向考察 3.3c 業界特性と表現技法の相関

#### 第4章 結論と課題

4.1 結論 4.2 研究の限界と課題

### 【概要】

キャッチコピーは商品やサービスの魅力を瞬時に伝えるための重要なツールであり、消費者の購買意欲を高める役割を担っている。現代社会では、膨大な情報の中で人々の目を引き、記憶に残るためには、魅力的で効果的なキャッチコピーが求められる。人を引き付けるキャッチコピーとは何なのだろうか。私は、キャッチコピーを整理・分類し、その特徴を日本語学的に分析していけば、より良いキャッチコピーの作成に役立つと考えた。これを目的とし本論文では、キャッチコピーに関する先行研究の分析や実際のキャッチコピーの集計を行い、魅力的なキャッチコピーの特徴を言語学的視点から探究した。

第2章では、下記の主要参考文献である『コピー年鑑』シリーズ3冊から、合計731個のコピーを、文体（①常体②敬体③名詞句）、文の種類①命令文②疑問文③感嘆文④平叙文）、修辞技法（①擬人法②擬態法③倒置法④反復法⑤対句法⑥比喩）の方法で分類した。その結果、常体と平叙文の使用率の高さと、修辞法の有無は魅力的なキャッチコピーにあまり関係がないことが分かった。

第3章では、分野によって使用されやすい文体や文の種類、修辞法に傾向があるのかどうか調査した。コピー全体をA~Kの11分野に分け、先に述べた分類方法で分類した。

本研究で、魅力的なキャッチコピーの特性について探求を試みたものの、その定義や本質に関して明確な結論を導き出すには至らなかった。しかし、キャッチコピーにおける言語表現が業界特性と密接に関連していることが明らかになった。特に、文体選択は商品特性やターゲット層に応じて戦略的に行われていること、修辞技法は効果的なキャッチコピーを作成する上で有効な手法ではあるものの、その使用が必須条件ではないこともわかった。

### 【主要参考文献】

東京コピーライターズクラブ編（2022）『コピー年鑑 2021』宣伝会議

東京コピーライターズクラブ編（2023）『コピー年鑑 2022』宣伝会議

東京コピーライターズクラブ編（2024）『コピー年鑑 2023』宣伝会議

## 小説の映画化にともなう変化

### 【論文の目次】

- 第1章 はじめに
- 第2章 先行研究まとめ
- 第3章 仮説
- 第4章 調査について
- 第5章 登場人物の分析
- 第6章 台詞や表現の分析
- 第7章 描写や行動の分析
- 第8章 おわりに

### 【概要】

本研究は、小説を映画化する際に生じる表現の変化に着目し、それが観客に与える影響を分析するものである。湊かなえの小説『母性』と廣木隆一監督による映画版を比較し、登場人物の描写や語りの構造、言語的表現の変化について考察する。

近年、小説の映画化が増加する一方で、原作との違いが議論を呼ぶことが少なくない。小説は登場人物の内面を詳細に描写できるが、映画は視覚的な表現が主体となるため、キャラクターの印象や物語の解釈が異なることがある。本研究では、映画化による変化がどのように作品のテーマや観客の受容に影響を与えるのかを明らかにすることを目的とする。

研究の方法として、①映画化によるキャラクターの印象の変化、②テーマの再構築、③小説の「空白」と映画の「省略」の関係、④言語表現の変化がキャラクターに与える影響という四つの仮説を設定し、比較分析を行った。

分析の結果、原作では母と娘の内面的葛藤が詳細に描かれているのに対し、映画では視覚表現が主体となるため、キャラクターの印象が変化することが確認された。また、感動詞やルビが振られている表現にも変化が見られた。さらに、小説における空白や穴といった表現は、映画のような視覚的なメディアにおいても同様に存在し、観客は提示された映像の中から不足している部分を補完する必要があることが明らかになった。

以上の考察を通じて、小説と映画は異なるメディアであり、それぞれの特性に応じた表現の工夫が求められることが示された。原作と映画の違いを理解することで、より多角的に作品を楽しむ視点が得られることが本研究の意義である。

### 【主要参考文献】

- 田中秀人(1998)『小説と映画の修辞学』水声社
- 西村清和(2007)「小説の映画化：描写の物語」『美学藝術学研究』25
- 湊かなえ(2012)『母性』新潮文庫

児童文学への言い換え表現  
— 『銀河鉄道の夜』をもとに —

【論文の目次】

- はじめに 第1章 大人向けの文章を子供向けに書き換える意義  
1-1 先行研究における「語彙」という語の定義 1-2 過去の語彙数調査  
1-2-1 過去の語彙数調査まとめ 1-2-2 過去調査からの考察  
第2章 実際の書き換え事例  
2-1 文学作品『坊っちゃん』での書き換え表現 2-2 児童向け新聞での言い換え  
第3章 分析概要 3-1 調査対象書籍について 3-2 調査  
第4章 調査結果  
4-1 調査結果 4-2 それぞれの書き換え表現の分析 4-3 書き換え表現が起こっていない例  
第5章 結論  
おわりに

【概要】

本稿では、大人向けに書かれた小説を児童向けに書き換える際にどのような言い換え表現がされているかについて調査を行った。第一章では大人向けの文章を子供向けに書き換える意義について考察し、その上で、第二章で実際に書き換えが行われている事例を取り上げ、さらに詳細な調査を行った。湯浅(2022)は、言い換え表現の要因を時代差によるもの、年齢差によるもの、その他の三つに大きく分類しており、本稿ではその中でも年齢差による言い換えに着目している。

調査作品には宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』を用い、一般向けに出版された角川文庫版と、角川文庫版を基にして児童向けに編集が行われた角川つばさ文庫版で文章にどのような違いが見られるかを比較した。結果、読点の追加や送り仮名の修正、漢字からひらがな、ひらがなから漢字への変換、漢字表記をまた別の漢字表記に変更するなどの書き換え表現が見られた。

一方で、現代では一般的でない言い回しや、ケール・信号標などの児童には理解が難しいであろう語句が易しい語に書き換えられることなくそのまま用いられているものも見受けられたため、そのような語については一般向けの国語辞典と児童向けの国語辞典を3社ずつ用いて比較を行った。

このように、児童向けの作品では児童たちがスムーズに読み進められるようにする工夫が優先される傾向がある。ただ、その一方で注釈や表現の変更が十分ではない場合や、統一感のない編集が見受けられることもあり、改善の余地があると感じられた。

【主要参考文献】

- 宮沢賢治(1996)『銀河鉄道の夜』角川文庫  
湯浅千映子(2022)「児童文庫版『坊っちゃん』に見る言い換え表現のバリエーション：複数の児童文学叢書との比較を通して」『人文』20、学習院大学人文科学研究所

話題開始部分における談話標識について  
「え」「ええと」「でも」「なんか」を中心に

【論文の目次】

- 1章. はじめに 2章. 先行研究のまとめ  
2-1. 若松 (2021) 2-2. 田中 (2018) 2-3. 朱 (2020) 2-4. 林 (2017) 2-5. 先行研究への考察  
3章. 調査方法 4章. 小説における談話標識について  
4-1. 調査方法について 4-2. 調査結果  
5章. 日本語母語話者における談話標識について  
5-1. 調査方法について 5-2. 調査結果  
6章. ロールプレイ談話における談話標識について  
6-1. 複数人での談話における談話標識の使用 6-2. 一対複数における語りにおいての談話標識 6-3. 複数人での談話、ロールプレイ談話から見る談話標識  
7章. おわりに 8章. 今後の課題

【概要】

本稿は、上記の四つを中心として、我々の使用している談話標識はどのような場面で使用され、その場面において使用される方法に差が見られるのかについてを調査したものである。

4章から6章にかけて、小説・談話資料・ロールプレイ談話の三つを調査の対象として、談話標識についての調査を行った。

ロールプレイ談話においての結果を取り上げてみると、特に「え」「なんか」の使用について特徴的なものが見られた。「え」は談話中の聞き手からの質問に対する回答の前に使用されることが多く、質問と回答の間を埋める役割を担っていた。また談話における発言に対する疑問の前置きに使用される役割も担っており、「え」よりも前の談話に対しての関係性も持った談話標識であった。「なんか」については疑問文の後の回答を補助する役割、前の話題に対して不確定な推測を述べる場面での入りの役割、話題に関連した過去の実体験や知識に対する導入としての役割の三つが見受けられ、それぞれ適した場面で使用されることによって、三つの役割を中心とした役割を担っていたことがわかった。

【主要参考文献】

- 若松史恵 (2021) 「話題開始部の冒頭に現れる言語形式についての一考察—談話標識「え」「ええと」「でも」「なんか」に着目して—」『社会言語科学』24(1)  
田中奈緒美 (2018) 「談話理解の視点から見た話題開始のための談話標識の分類」『日本語教育』170  
朱恰潔 (2020) 「主導権の交替から見た話題開始の談話標識」『言語科学論集』24

## 数詞7の変遷

### 【論文の目次】

#### 第1章 はじめに

1.1 研究背景 1.2 研究目的 1.3 調査方法

#### 第2章 先行研究について

2.1 日本語数詞の特徴 2.2 和語数詞・漢語数詞の定義 2.3 日本語助数詞の特徴

2.4 日本語数詞の歴史 2.5 変遷の時期—伊藤(2004)から—

2.6 変遷の時期—安田(2015)から— 2.7 先行研究のまとめおよび考察

#### 第3章 キリシタン資料における使用例

3.1 概要 3.2 結果 3.3 考察

#### 第4章 話し言葉コーパスの用例調査

4.1 概要 4.2 結果 4.3 考察

#### 第5章 アクセント辞典の比較

5.1 概要 5.2 結果 5.3 考察

#### 第6章 アンケート調査

6.1 概要 6.2 設問作成について 6.3 仮説 6.4 結果 6.5 考察

#### 第7章 おわりに

### 【概要】

本稿では7の読み方の実態を明らかにすることを目的とし、2通りの読み方ができる理由についても考察した。そのために変遷や現在の使用状況の調査を行った。

第2章では、先行研究から日本語数詞・助数詞の特徴と大まかな変遷を整理し、本稿での定義や調査する時代を定めた。第3章では室町時代後期のキリシタン資料を、第4章では戦後の昭和時代の話し言葉コーパスを調査した。第5章では出版年の異なる2冊のアクセント辞典を比較し、その差異を基に第6章でアンケート調査を行った。

これらの調査から、7の読み方の優勢は「なな」、「しち」、「なな」と変化しており、安田(2015)の主張にある通り、明治時代までは「しち」が圧倒的に多かったが、戦後には形勢が逆転したという結果になった。また、聞き間違いを防ぐことを理由に「なな」が多く用いられるようになったと考えられる。

### 【主要参考文献】

田野村忠温(1990)「現代日本語の数詞と助数詞：形態の整理と実態調査」『奈良大学紀要』

18、奈良大学

三保忠夫(2006)『数え方の日本史』吉川弘文館

安田尚道(2015)『日本語歌詞の歴史的研究』武蔵野書院

## 日本語映画における字幕と音声

### 【論文の目次】

第1章 はじめに

第2章 本研究で使用する字幕

2.1 作品のあらすじ 2.2 本研究で使用する映画字幕 2.3 使用する字幕資料についての字幕

第3章 字幕作成のルールに基づく考察

3.1 先行研究 3.2 本研究の対象字幕についての考察

第4章 先行研究2

4.1 文字体系の使い分け 4.2 縦ひらがな表記 4.3 縦ふりがな表記 4.4 ひらがな表記

4.5 カタカナ表記 4.6 フリガナ付き漢字表記 4.7 フリカタカナ付き日本語表記

第5章 大文字小文字による表記の違い

5.1 大文字小文字の使い分け 5.2 大文字小文字による違いに対する考察

第6章 声以外の音字幕

6.1 人以外の字幕 6.2 声以外の音字幕に対する考察

第7章 漫画のセリフと映画の字幕の比較

7.1 漫画との比較 7.2 映画字幕と漫画のセリフの比較

第8章 まとめ

### 【概要】

本論文では、日本映画における字幕の効果について研究している。しかし、外国映画の翻訳字幕に関係する先行研究は多数、確認できるものの、日本映画における字幕について研究しているものがなく、明確な答えを導くことが不可能であった。そのため、本論文では、日本映画を対象に字幕があることによる効果を明らかにしていく。この研究の結果をもとにすれば、字幕本来の良さを知り映画をより楽しむことができると考えられる。字幕についての基礎知識を踏まえたうえで実際に『東京卍リベンジャーズ2 血のハロウィン編-決戦-』の字幕を引用しながら分析を行い、筆者自身の結論を出すこととする。

実際の字幕作成における大まかなルールとして「1秒4字」や、「1行10字」などのルールが存在することが分かった。ルールとして定義されていなくても、視聴者が作品を視聴するうえで混乱することのないように切れ目の悪い部分での改行がなくなっていたり、ひらがなやカタカナ、漢字、フリガナが使い分けられているなどの工夫が多数見受けられた。大文字と小文字の使い分けに関しては、文字で登場人物の感情や迫力、抑揚を表現するなど、字幕特有の面白さを感じることができた。

字幕は、音声が聞き取れなかった時に確認することができたり、音声をだすことができない状況で映像を視聴する際にも利用することができ、表記がわかりやすく工夫されていることがわかった。つまり、字幕は作品を見るうえで欠かすことのできない重要なツールであるといえる。

### 【主要参考文献】

佐藤一公・菊池浩司・岩本令・林完治・岡田壮平・徐賀世子・杉田朋子 (2003) 『映画翻訳入門』 アルク

増地ひとみ (2024) 「まんがが漫画/マンガ/Manga の表記感—各表記のイメージに関する自由記述を基に—」『共通教育論集』2、追手門学院大学共通教育機構

吉村弓子 (2018) 「日本語映画字幕の表記の諸相」『雲雀野：豊橋技術科学大学人文科学系紀要』40

## 岩手県岩泉町における方言の使用状況調査と記録

### 【論文の目次】

- 1 はじめに
- 2 先行研究
- 3 地域情報
- 4 話者情報
- 5 調査について
- 6 調査結果
  - 6.1 文法・活用
  - 6.2 語彙
- 7 談話資料
- 8 終わりに
- 9 参考文献

### 【概要】

本稿は、岩泉町で使用される方言の記録を目的とし、現地方言話者から得た自然談話をもとにした文法・語彙の記録である。岩泉町尼額(アマブタイ)地区・岩泉地区を調査対象地域とし、内容は動詞の活用・用言に後接する形式をまとめたものと、語彙集・談話資料からなる。

本調査では調査対象地域に居住歴があり、かつ50歳以上の6名の方を対象として自然談話を採集した。調査対象年齢は、町の人口構成比65%を超える50歳以上が使う言葉が最も耳にする機会のある言葉であると考え設定した。

動詞の活用は表にまとめ、用言に後接する形式は談話での使われ方を用例に用いてそれぞれの意味用法を解説している。内容理解に支障の無いよう、用例に共通語訳も付した。また、談話内での使用例のみで分析できない表現に関しては、『方言文法全国地図』に掲載されている例文をもとに話者に聞き取りを行い、その結果をまとめた。

語彙集は談話の中で採集できた語形を見出しとし、見出し語の意味に相当する共通語形と比較できるようにした。話者同士の談話の中で思い出された古い語も収録されており、別途解説を入れる必要のある語に対してはマークを付けて区別し、最後にまとめて解説を入れている。談話での使われ方をそのまま用例として採用した語や、話者に教えていただいた用例を載せている語がある。

### 【主要参考文献】

- 国立国語研究所(1989-2006)『方言文法全国地図』第4集 表現技法編1,財務省印刷局  
齋藤孝滋(2001)『岩手県のことば』明治書院  
竹田晃子(2020)『東北方言における述部文法形式』ひつじ書房

## 岩手県中部方言の特徴と印象形成における影響

### 【論文の目次】

序章

第一章 先行研究のまとめ

第二章 調査方法と結果

第一節 音声データの分析と先行研究との相違点に関する調査

第二節 方言を用いた会話に対する印象の調査

第三章 調査結果のまとめ

第四章 まとめ

### 【概要】

本研究では、言語が話者の印象形成に与える影響に注目し、特に東北方言に対するイメージについて検討した。岩手県中部方言に焦点を当て、その特徴がどのように話者の印象に影響を与えるのかを明らかにすることを目的とした。

研究方法としては、岩手県中部方言話者（50代～80代女性）の会話を録音し、音声データを分析した。また、岩手県外出身者92名を対象にアンケート調査を実施し、岩手県中部方言に対する印象を調査した。

音声分析の結果、岩手県中部方言は標準語に比べて抑揚が小さいことが確認された。そのため、先行研究を基にすると、話者に内向的な印象を与えると予想された。しかし、アンケート調査では、岩手県中部地方の方言に対して、「外向的」との回答が44%を占め、「内向的」との回答は29%の結果になった。なお、東北方言全般のステレオタイプのイメージである温かみ、素朴さ、聞き取りにくさが岩手県中部方言にも適用される傾向があった。

アンケートの結果を踏まえると、岩手県中部方言は外向性や親しみやすさの評価が高い一方で、聞き取りやすさに関する評価にはマイナスな印象が残ることがわかった。また、方言に対するイメージは、実際の発話を聞くことで変化する可能性があることも示された。

本研究の目的である話者の印象形成における方言使用の影響については、先行研究と同様に、方言を使用することで話者の対人魅力が高まる傾向が見られた。なお、話者の年代や性別などの属性が、聞き手の方言に対する印象に大きな影響を及ぼす可能性もある。特に、聞き手が話者に期待する社会的役割や属性に方言が適合するか否かが、方言使用時の印象形成における重要な要素となり得ると考えた。

### 【主要参考文献】

内田照久(2006)「未知のイントネーションから想起される話者の性格印象と方言地域の特徴」  
『音声研究』10(3)

小松代融一(1976)「岩手方言の音韻と語法」『岩手方言研究』4

斎藤孝滋・平山輝男(1997)『岩手県のことば』明治書院

## 日本語母語話者における和製英語

### 【論文の目次】

第1章 はじめに

第2章 先行研究

2.1 田野村 (2019) より 2.2 須部 (2013) より

2.3 姫田 (2005) より 2.4 柴崎・玉岡・高取 (2007) より

2.5 五十嵐 (2013) より 2.6 スティーブ・ウォルシュ (2020) より

2.7 張, 玉岡, 早川 (2014) より 2.8 山根 (2015) より

第3章 調査方法

第4章 調査結果

4.1 日本語母語話者の一般和製英語の理解度 4.2 和製英語を正しい英語表現に示す

4.3 分析

第5章 まとめ

5.1 考察 5.2 今後の展望と反省点

### 【概要】

本稿は、「サラリーマン」と日本ではよく耳にするが、英語でこれに該当する語句は「office worker」などのような和製英語に着目し、このような和製英語を日常的に使用している日本語母語話者における理解度と、和製英語が日本人の英語学習能力にどのような影響があるのかを調査したものである。

調査では、山根(2015)を参考にして 30 個の和製英語を挙げ、アンケート調査を行った。日常的に目にする和製英語の理解度は高かったが、低いものもあったため和製英語の中にも日常に溶け込んでいるものとそうでないものがあることが分かった。また和製英語を正しい英語表現に示すことができるかを調査したところ正答率が著しく低く、英語と和製英語の認知が混ざっていることが伺えた。

結果から、日本語母語話者であっても和製英語を理解しきれていないという事が分かった。この問題を解決するためには「和製英語」というものの定義をはっきりとさせ、英語学習に取り組むべきだが、ただやはり和製英語の定義などが明確でないので、「外来語」と「和製英語」の線引きをしなければならないのではないだろうかと考える。

### 【主要参考文献】

山根一文 (2015) 「和製英語はどこまで理解されるかー現地 (イギリス・オーストラリア・カナダ・ニュージーランド・アメリカ合衆国) 調査最終報告ー」『中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要』47, 45-53, 中村学園大学・中村学園大学短期大学部  
田野村忠温 (2019) 「和製英語：悪習との決別」『日本語学』38(7), 明治書院

マンガにおけるオノマトペの研究  
—マンガのジャンル別による比較をもとに—

【論文の目次】

- 第1章 はじめに
- 第2章 オノマトペについて
- 第3章 アクションシーンと非アクションシーンのオノマトペ比較
- 第4章 子供向けマンガ、少年向けマンガ、青年向け（成人向け）マンガのオノマトペ比較
- 第5章 少年向けマンガと少女向けマンガのオノマトペ比較
- 第6章 少年向けマンガと少女向けマンガのアクションシーンのオノマトペ比較
- 第7章 少女向け恋愛マンガと成人向け恋愛マンガのオノマトペ比較
- 第8章 おわりに

【概要】

本研究では、マンガと切っても切れない関係にあるオノマトペが、どのような役割や効果を持つのか、またマンガのジャンルによってどのような違いがあるのか、比較研究を用いて明らかにする。

調査方法として、『犬は「びよ」と鳴いていた』において山口（2002）が分類した、A型、Aッ型、Aン型、A-型、AA型、AッA型、AッAッ型、AンAン型、A-A型、AB型、ABッ型、ABン型、ABリ型、AッBリ型、ABAB型、ABB型のオノマトペ語型を使用する。様々なマンガから描き文字として使用されたオノマトペを抜き出し、この語型に当てはめて表を作成する。

この表とマンガごとに見られたオノマトペの特徴を比較し、調査を行っていく。調査内容は以下のとおりである。

- ① アクションシーンと非アクションシーンのオノマトペ比較
- ② 子供向けマンガ、少年向けマンガ、青年向け（成人向け）マンガのオノマトペ比較
- ③ 少年向けマンガと少女向けマンガのオノマトペ比較
- ④ 少年向けマンガと少女向けマンガのアクションシーンのオノマトペ比較
- ⑤ 少女向け恋愛マンガと成人向け恋愛マンガのオノマトペ比較

【主要参考文献】

- 矢野友理（2017）「漫画のオノマトペ—『ワンピース』『のだめカンタービレ』『ブラックジャック』『サザエさん』を資料として—」『筑紫語文』26、1-29、筑紫女学園大学日本語・日本文学科
- 山口仲美（2002）『犬は「びよ」と鳴いていた』光文社

## 東京語の成立と変遷

### 【目次】

- 1 はじめに 2 東京語の定義 3 東京（江戸）の地理
- 4 東京（江戸）と東京語（江戸語）の歴史
  - 4.1 家康江戸入り以前 4.2 天正開府より明暦頃まで 4.3 寛文頃より享保頃まで
  - 4.4 宝暦頃より寛政頃まで 4.5 文化頃より幕末まで
  - 4.6 明治前期 4.7 明治後期 4.8 大正期 4.9 昭和前期 4.10 昭和後期
  - 4.11 平成期から現在 4.12 東京の人口の歴史的推移
- 5 江戸語の分類
- 6 下町言葉と山の手言葉
  - 6.1 概要 6.2 下町言葉の特色 6.3 山の手言葉の成立と台頭
  - 6.4 標準語と教科書と山の手言葉 6.5 ラジオ・テレビと山の手言葉
  - 6.6 小説に見る山の手言葉
- 7 調査研究
  - 7.1 調査概要 7.2 文末語についての比較研究 7.3 東京旧市域の訛語
  - 7.4 大阪語との比較 7.5 全国方言との比較
- 8 まとめ・考察 9 首都圏方言と今後の展望

### 【概要】

本論文では、東京語の成立と変遷について、古い資料の調査と、親戚への聞き取り調査、また統計資料の検討を交えて研究した。まず、東京語の成立について地理的および歴史的に論述した。そして、東京語が変遷した理由についていくつかの点から考察し、以下のような結論を得た。

第一に、世代交代と人口移動が挙げられる。東京では、まちの発展により人口が大きく増えた反面、地震による火災や空襲で被害を受けるなどして人口が大きく減少することが何度かあった。東京以外の方言が東京に流入し続ける中で、東京語の話し手が減っていったのである。第二に、身分制度の崩壊が挙げられる。明治維新の結果、江戸時代の身分制度が崩壊し、身分による言葉の違いが少なくなっていった。第三に、他の地域や外国から言葉が入ってきたことが挙げられる。第四に、教育の影響が挙げられる。武士の子も町人の子も小学校で一緒に学ぶようになり、また義務教育になった。そして国定教科書で標準語を学ぶことになった。第五に、ラジオ、テレビ、インターネットなどのメディアの影響が挙げられる。伝統的な東京語は消滅しつつあり、首都圏方言などが台頭してきている。

### 【主要参考文献】

- 田中章夫（1983）『東京語—その成立と展開—』明治書院
- 田中章夫（1988）「東京語の時代区分」『国語と国文学』東京大学国語国文学会
- 飛田良文（1992）『東京語成立史の研究』東京堂出版

## 現場指示における指示詞の選択について

### 【論文の目次】

序章 指示詞をより深く理解するために

#### 第2章 先行研究の整理

- 2.1 コソアの研究の歴史 2.2 佐久間以前 2.3 佐久間説 2.4 佐久間以後
- 2.5 現場指示の研究における課題と対策の方法 2.6 先行研究を通しての考察

#### 第3章 調査方法及び事前調査シートの作成について

- 3.1 調査の目的と意義 3.2 事前調査シートの作成について 3.3 被験者情報及び事前調査シートの回答内容 3.4 第一回調査の方法

#### 第4章 第一回調査の結果

- 4.1 調査結果の表記方法 4.2 「これ」「それ」「あれ」の範囲の分析と事前調査シートとの比較 4.3 第二回調査に向けての反省

#### 第5章 第二回調査

- 5.1 調査の目的と意義 5.2 第二回調査の方法

#### 第6章 第二回調査の結果

- 6.1 調査結果の表記方法 6.2 指で指し示す場合と顎で指し示す場合の比較

#### 第7章 考察

- 7.1 第一回調査について 7.2 第二回調査について 7.3 第一回調査、第二回調査を通して

終章 今後の展望

### 【概要】

現場指示における「これ・それ・あれ」という指示詞は小学校低学年で体系的に学習する内容ではあるが、それ以降の教育現場では扱われることがほとんど無く、感覚的なものとして使用されている。そこで本稿では現場指示における指示詞の選択について、調査を行い実測値の観点から検討した。

被験者 9 名を対象に、話し手と聞き手が横並びになり、机の上に対象物を置いて指示詞の選択を調査した。また調査は調査方法を変更して二回行った。第一回調査では指示詞の選択において、コソアの境界には個人差があり、特に「それ」や「あれ」の範囲は大きな違いが見られる事がわかった。第二回調査では指示形態の違いが指示詞の選択に影響を与えるかを検討し、指差しの場合と顎指しの場合では、指示範囲が腕の長さ分ずれている事がわかった。

### 【主要参考文献】

佐久間鼎 (1951) 『現代の日本語の表現と語法《増補版》』 厚生閣

杉村泰 (2020) 「日本語の現場指示「この」「その」「あの」の選択 (1) : 許容度と選択率の観点から」『名古屋大学人文学研究論集』 3、名古屋大学人文学研究科

高橋太郎・鈴木美都代 (1982) 「コ・ソ・アの指示領域について」『国立国語研究所報告』 71